



令和3年2月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

クロマグロ小型魚を定置網から逃がすタモ網を作製

静岡県定置漁業協会は、県の「水産イノベーション対策推進事業」を活用して定置網に迷入したクロマグロを効率的に網外へ逃がす体制や手法の開発を行っています。

1月14日に伊東魚市場において、県内定置網の乗組員約30名が「たもすくい網漁業」で用いられているタモ網をベースとした放流用タモ網の作製を行いました。参加者は元たもすくい網漁師の濱野氏から網の編み方等について手ほどきを受けながら熱心にタモ網を作製していました。

その後、伊豆東岸の大型定置網（富戸漁場）では、早速完成したタモ網を用いて迷入したクロマグロの放流を行いました。このタモ網は従来のタモ網に比べて軽く、水中抵抗が少ないため扱いやすいとのことで、クロマグロ放流作業の効率化が期待されます。



網作製の手ほどきを受ける参加者

タモ網を構築する乗組員



キンメダイの親魚採捕

キンメダイの人工授精には親魚を水槽で飼育して成熟させる必要がありますが、深海魚であるキンメダイの生残率は高くありません。その原因として深海から釣上げた時の水温差がストレスとなっている可能性があるため、それが小さい冬が採捕に適していると考えられます。1月16日に伊豆半島東岸沖で78尾を採捕し焼津市の深層水利用施設に運搬しました。到着時にはへい死は無く、この中から親魚が生残ってくれるのを期待しています。



↑採捕したキンメダイ

下田認定こども園が伊豆分場に来場

1月22日に下田市立下田認定こども園の園児50名が伊豆分場に来場しました。事前にいただいた「魚の種類はどれくらいか？」等の質問をもとに、園児たちはクイズ形式で海や海の生き物について学び、展示室の海藻押し葉や伊豆地域の海の生き物の写真、漁具等を興味深く見学し、気になることは随時職員に質問していました。外水槽で飼育しているマダイ等への餌やりでは、自分達が与えた餌に魚が寄ってくる様子に歓声があがっていました。



↑屋外水槽のマダイに餌やりをする様子

2月の予定 ●キンメダイの親魚採捕を行います ●県漁業士会総会は書面で開催され2/5に議決されます ●2月19日に一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会が開催されます ●テングサ・ヒジキ生育調査を行います ●西伊豆地域の水産物流通効率化試験を行います ●テングサ作柄調査の要望を調査します

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。